

**第84号**  
R4.3.10 発行

■編集・発行  
田彦中学区地域づくりの会・広報委員会  
TEL.029-274-5222 FAX.029-276-1609  
〒312-0063 ひたちなか市田彦950-128  
田彦コミュニティセンター内

田彦コミュニティセンター

背景は、秋季運動会



## 地域で育てる

田彦中学校区生徒指導推進協議会・教育講演会  
田彦中学校

12月24日(木)に田彦中学校区生徒指導推進協議会・教育講演会を実施しました。

この会では、学校、家庭、地域社会、関係機関・団体等と連携しながら、生徒指導関係の各種事業を実施し、生徒指導の一層の充実を図ること。豊かな心の育成に関する事業も関連させ、充実・推進を図ることを目的としています。

今回、前半の部では、田彦中学校区生徒指導推進協議会の組織について再確認するとともに、小中学校の児童生徒の学校での様子について発表し、意見交換をしました。

後半の部では、教育講演会を行いました。今年度から小中学校では、一人一台端末(タブレット)を使い学習を進めています。そこで、地域の皆様にもご理解いただきたく、茨城県メディア教育指導員の方をお呼びして「子どもとインターネット」を考える」について講話をいただきました。

これからも、学校、家庭、地域社会、関係機関・団体等と連携しながら、児童生徒の成長を見守っていただきますようお願いいたします。



**ノルディックウォーキング体験会**  
体育部会 安島 眞司

11月の晴天の気持ちの良い日にノルディックウォーキング体験会を行いました。

お子様を含め36名の方が参加。ポールを使つての準備運動、歩き方のレクチャーをコミセンの芝生広場でうけました。ポールは杖ではなく体を前に進めるために使うので、なかなか難しいです。少しなれたところで出発です。体力に合わせて3キロと5キロのコースがあり、それぞれのペースで楽しく歩き心地よい汗をかきました。

ノルディックウォーキングはポールを使用することで膝などへの負担が軽減し、通常のウォーキングよりエネルギー消費量が20%高くなると言われています。是非皆さんも体験してみてくださいませんか。

**着付けクラブ**  
齋藤 美恵子

月二回の着付けクラブもお陰様で活動を続けて、二十一年近くになりました。

子どもの卒園式、入学式に一人できものを着て出席したいと習い始めた若いお母さん達、また、子育ても一段落し筆筒に眠っているきものに袖を通してみたいなど、きっかけはそれぞれですが、きものが好きで一人で着てみたいという思いの人達の集まりです。

着装を通してきものに触れる事で、模様、素材、用途などの理解も深まりよりきものの奥深さに惹かれていくようです。

年齢、キャリアは様々ですが、毎回和気あいの楽しい教室です。

コロナ禍で、休館の時期もあり思うようにお稽古が出来ない時もありましたが今は、コロナが一日でも早く収束し、きもので食事会が出来る日を楽しみに、お稽古しています。

そして、日本の伝統文化でもあるきものの和が少しずつでも広がっていくことを願いつつ、今後も継続したいと思っています。

## コミュニティひろば

自治会活動を体験して

堂端自治会 横田 朋典



田彦に移り住んで十数年になります。これまで自治会活動は、組長を一年務めたのみでした。今回は班長に加えて環境衛生委員長になりましたので、はじめはとても不安でした。

しかし、緑と花の愛護普及事業や環境美化運動等の活動を通じ、他の自治会役員さんや地域の方々の協力もあり、無事行事を終えることができました。緑と花の愛護普及事業によりマラソン道路がマリーゴールドで彩られ、環境美化運動により道路のごみがなくなり、とてもすがすがしい気持ちになりました。

コロナ禍のため今年度も多くの行事が中止となってしまいました。自治会活動を通じて、地域の方々の交流が生まれていることを実感しました。

今後の自治会活動のあり方として、様々な分野でデジタル化が進んでいますので、行事の日程や出欠などにIT活用できれば、役員さんの負担軽減になるのではないかと思います。

## 自治会活動に関わって

西大島自治会 館野 真



昨年4月から、新地2班の班長を担当することとなりました。

これまで地域の自治会活動は、組長程度で自治会全体の活動に貢献することはほとんどありませんでした。今回、班長になって、自治会の会長をはじめ皆さんと一緒に活動し、その様子を目の当たりにして、感銘を受けております。

地域のほとんどの住民の方々が気づかない活動を役員の方々が黙々とこなしている姿は、ただただ頭が下がる思いです。

いわば、地域の緑の下の力持ちとあったところでしょうか。

このような活動があつてこそ、地域が何事もないかのように回っていくものと思います。

私も及ばずながら、出来る限りの協力をし、少しでも地域のためになれば、日頃お世話になっている地域に対するせめてもの恩返しになるかと考えております。



## 地域のつながり

田彦東自治会 皆川 千帆



この地に引越してきて15年位がたちます。住んで思う事は、生活

環境や地域との交流がとても良いことです。

生活環境では、静かで安心して暮らせる環境です。私の子どもたちにとっては、家から小・中学校や公園が近くにあります。公園では、いつも賑やかで、毎日地域の方たちのグラウンドゴルフ。遊具で遊ぶ元気な子どもたち。大人から子どもたちまで集う人気の場所です。

地域の交流では、自治会主催のボウリング大会、資源ごみ回収、地域秋季運動会等に参加しました。役員さんをはじめ地域の皆さまは、とても親切で明るく色々教えてくれます。私にとって、この地域の生活環境や地域交流が財産となっています。

コロナが落ち着いたらもつと色々なイベントに参加していきたいし、もつと多くの方々と交流を深めていきたいです。

こんな私だけど、地域のお役に立てたらいなあと、自治会の役員に立候補しました。子どもたちが成長し、子どもたちがどこに行っても自慢できる街でありたいと思います。頑張っていきたいです。

**子ども吹矢教室**

田彦コミュニティセンターで活動している「スポーツウエルネス吹矢・田彦」の皆さまの協力で12月に子ども吹矢教室が開催されました。

礼で始まり、礼で終わる。心静かに、的を狙う。会場は、凜とする。参加した子どもたちは、いずれも真剣。日常にない体験でした。

最後は、一緒に来たご両親やおばあちゃんと一緒に吹矢を楽しみました。いつの間にか、親子吹矢教室に変身!



## 街かど花いっぱい運動

環境部会

環境部会の活動として、市の推進する花と緑の愛護普及事業の一環として街かど花いっぱい運動を行いました。

コロナ禍での活動であるためコロナ感染対策を遵守し、6月に自治会の皆さんと一緒に、山新通りにマリーゴールド約1350本を植え見事な通りになりました。

11月は、色とりどりのパンジー



やビオラ約350本を田彦コミュニティセンターと大島公園の花壇に植えました。

大島公園の花壇を整備していたら、散歩をされている方に「きれいできましたね」とお声を掛けていただき部員がうれしく思いました。

コロナ禍のなか、行動に制約があり窮屈な生活が続きますが、一瞬でも癒されるならば幸いです。

## 編集後記

年明けから新型コロナウイルスはオミクロン変異株に変貌し、猛威を振るい1月末から「まん延防止重点措置」が発令されました。2021年は、全世界でコロナとの戦いでした。

そんな中、東京オリパラが開催され、白熱する競技、選手や大会関係者等の人々が織りなすドラマにコロナを忘れて感動しました。

当地区の自治会等の催し物等も徐々に実施されています。その中、第27回秋季運動会が開催され、地域の人々の交流や笑顔満載を2・3面に記載しました。

これまで寄稿くださった皆様に感謝申し上げます。来年度は、早く従来の日常生活に戻れることを祈念申し上げます。

編集委員  
平田真樹、池田 寛、古賀久美子、大貫 勉、橋 久吉、新原正行、安島眞司、古谷登代子、野沢井昌子、宮崎祐輔



# 第27回 秋季運動会

令和3年 12月4日(土) 参加者総勢 228名 開催

優勝 田彦東自治会 (115.91 得点)  
準優勝 堂端自治会 (115.14 得点)

参加者の熱量が沸騰寸前

マスクから覗く笑顔

久しぶりの再会  
苦いこぼしたボウリング

地域のつながり

家族で参加した自治会行事

ぼあちゃん初めてのボウリング

静かな戦いとボウリング場のストライクの高音

つかの間の開放感

